

第三セクター等経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和4年3月10日
作成担当部署 山形県大石田町 まちづくり推進課

2. 第三セクター等の概要

法人名 株式会社 大石田町地域振興公社
代表者名 代表取締役 花田 淳
所在地 北村山郡大石田町大字豊田884-1
資本金 17,000千円【大石田町の出資額(出資割合)15,000千円(88.2%)】
業務内容 大石田温泉周辺施設、大石田駅都市施設の維持・管理・運営など

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社大石田町地域振興公社は、大石田温泉周辺施設の効率的な施設運営とサービス提供を行うため、平成5年に設立されました。その後、大石田温泉周辺施設や大石田駅都市施設などの指定管理者として、町民福祉の向上を図るため、施設の適切な運営やサービスの提供に取り組んできました。

しかし、人口の減少や景気の低迷などから施設利用者が減少し、赤字経営を余儀なくされています。さらには新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたことで経営資金の確保が困難になり、債務超過に陥っている状況です。

そこで、令和2年度以降、町の委託による経営コンサルティング業務を実施し、コロナ終息後を見据えた経営改善に取り組んできました。町はその他、経営を維持するための支援金や町内女性による宿泊体験・レビュー事業を通して、公社の経営を支援しています。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組みに係る検討

町は公社に対して、毎週の取組状況をまちづくり推進課へ報告を求める他、毎月の財務状況についても総務課（財政担当）へ報告を求め、公社の経営状況を町が常に把握できる仕組みを強化します。

厳しい経営状況ではありますが、大石田温泉は町民の憩いの場であるとともに関係人口の増加を図る上でも欠かすことのできない存在です。

引き続き、公社の経営状況の把握と検証を行いながら、健全な事業経営への支援に努めていきます。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

公社経営の柱となる大石田温泉周辺施設については、温泉の良さ（美肌の湯等）を広く周知し、料理や宿泊プランの見直しを行いながら、利用者の増加に向けて積極的な営業活動を行います。また、リニューアルオープンを予定している大石田駅都市施設は、そば処のメニュー構成見直しや売店商品の充実を図り、売上げ増加を目指します。

令和2年度から行っている毎週木曜日の部門別会議、チーフ会議を継続して実施し、各部門の取組状況や売上げの推移、課題などについて議論・情報共有を徹底します。併せて、売上高、原価率、販売管理費等の状況について毎月分析しながら経常経費の節減を図り、社員全員の意思統一のもと、経営の健全化を目指します。

公社は、新型コロナウイルス感染症発症前の恒常的な赤字経営から脱却するため、商品全般のレベルアップや商品構成の見直し、商品の良さの消費者への浸透、職場における作業効率の向上などに取り組んでいますが、まだまだ道半ばです。コロナ終息後、直ちに黒字化が実現するよう、社員がアイデアを出し合い、新たな取組みにも挑戦しながら、年度ごとに策定する「アクションプラン」に基づき取り組んでいきます。

(参考)

6. 法人の財務状況

	項目	金額（千円）		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
貸借対照表から	資産総額	26,717	20,545	28,243
	（うち現預金）	16,086	11,893	13,862
	（うち売上債権）	3,014	1,915	637
	（うち棚卸資産）	4,801	4,195	3,353
	負債総額	19,691	20,372	38,694
	（うち大石田町からの借入金）	0	0	0
	純資産額	7,026	173	▲10,451

	項目	金額（千円）		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
損益計算書から	経常収益	186,435	185,918	96,547
	経常費用	201,747	193,297	148,955
	経常損益	▲15,312	▲7,379	▲52,408
	経常外損益	4,874	526	41,784
	当期純損益	▲10,438	▲6,853	▲10,624